

2008年5月8日

スバル発売 50 周年記念

スバル レガシィ アウトバック「2.5XT」を発売

富士重工業は、スバル発売 50 周年を記念して、スバル レガシィ アウトバック「2.5XT」を新たに設定し、本日より全国スバル特約店を通じ発売する。

アウトバック「2.5XT」は、低回転域から豊かなトルクを発生する 2.5ℓ 水平対向 4 気筒 DOHC ターボエンジンを搭載するとともに、車高を抑えた専用サスペンションなどを採用。アウトバックの持ち味である大らかな走りに、ゆとりの走行性と優れた操縦性を融合させたスポーティモデルとした。

また、新型ステレオカメラと新開発 3D 画像処理エンジンにより、優れたプリクラッシュセーフティ（衝突被害軽減）を実現する先進運転支援システム「EyeSight^{アイサイト}」を新展開。アウトバック「2.5XT EyeSight」
として新たに設定する。世界で初めて*、ステレオカメラのみでの「プリクラッシュブレーキ」、「AT 誤発進抑制制御」、「全車速追従機能付クルーズコントロール」を実現した。

*当社調べ(2008年3月現在)



スバル レガシィ アウトバック 「2.5XT」

【アウトバック「2.5XT」の主な内容】

<パワートレーン>

- ・レガシィの国内モデルでは初となる 2.5ℓ 水平対向 4 気筒 DOHC ターボエンジンを搭載。吸気 AVCS（可変バルブタイミング）を採用し全域での充填効率を向上させ優れた出力性能を実現。
- ・ターボチャージャーや排気管システムを最適化。2.5ℓ の排気量とあわせ、低回転域から発生する豊かなトルクにより、ゆとりのある加速性能を実現。
- ・燃焼室内に渦を発生させ燃焼効率向上させる TGV（タンブルジェネレーテッドバルブ）と、冷態時の排出ガス低減を図る 2 次エアシステムを採用。出力、燃費をともに確保しながら優れた低排出ガス性能も実現。
- ・ドライバーが任意で 3 つの走行特性を選択できる SI-DRIVE（SUBARU Intelligent Drive）を採用。「Intelligent（インテリジェント）」モードは、アクセルを踏み込み続けることで最大トルクが発揮できる出力特性に自動的に制御。

<シャシー>

- ・アウトバック標準車に対し、車高を 25mm 抑え、減衰力やバネ定数などに専用チューニングを施したサスペンションを採用。また、ヨコハマコンチネンタル社製のサマータイヤの装着とあわせ、優れた操縦安定性を実現。
- ・ブレーキは、フロントに 17 インチベンチレーテッドディスク、リヤに 15 インチベンチレーテッドディスクを採用。
- ・車両挙動安定装置 VDC（ビークルダイナミクスコントロール）を標準装備。

<その他仕様装備>

- ・ポップアップ式ヘッドランプウォッシャーを内蔵したバイキセノンヘッドランプを採用。
- ・メーカー装着オプションで設定の本革シートに、アイボリーとオフブラックの 2 色の内装色を設定。
- ・ピアノブラック（漆黒調）のオーディオセンターパネルを装備。また、インパネ中央のパネルサイド部は、内装色に合わせた 2 種類を設定。[内装色 アイボリー：茶色木目調、オフブラック：黒色木目調]
- ・アイボリー内装のフロアマット部にブラックを配色し、コントラストを強め上質感を演出。
- ・シートポジションメモリー機能付き運転席 8 ウェイパワーシート、助手席 8 ウェイパワーシートなどを標準装備。
- ・キーレスアクセス&プッシュスタート機能、クルーズコントロール（「2.5XT」**）を標準装備。

**「2.5XT EyeSight」には、全車速域追従機能付クルーズコントロールを装備

～主な仕様諸元～

全 長 (mm)	4730
全 幅 (mm)	1770
全 高 (mm)	1520
最低地上高 (mm)	180
車両重量 (kg)	1530
エンジン種類	EJ25 型 2.5 ℓ DOHC 水平対向 4 気筒 16 バルブ AVCS ターボ
内径 × 行程 (mm)	99.5×79.0
総排気量 (cc)	2457
圧縮比	8.4
最高出力 [kW (PS)/rpm]	195 (265) / 5600
最大トルク [N・m (kg・m)/rpm]	350 (35.7) / 2400
燃料消費率 (km/ℓ)	10.0
燃料供給装置	EGI (電子制御燃料噴射装置：マルチポイント・インジェクション)
燃料タンク容量 (ℓ)	64
燃料種類	無鉛プレミアムガソリン
低排出ガス車認定レベル	平成 17 年度基準排出ガス 50%低減レベル (U-LEV)
フロントブレーキ	17 インチ 2 ポット ベンチレーテッドディスク
リヤブレーキ	15 インチ ベンチレーテッドディスク
ステアリング	ラック & ピニオン (16.5)
タイヤ	ヨコハマコンチネンタル製 ASPEC A349 (215/55R17)

【先進運転支援システム「EyeSight」の特長と機能】

「EyeSight」は、新型ステレオカメラと新開発 3D 画像処理エンジンを用いることによって、歩行者、自転車をも対象とした優れたプリクラッシュセーフティを実現する運転支援システム。世界で初めて*、ステレオカメラのみでの「プリクラッシュブレーキ」、「AT誤発進抑制制御」などの予防安全機能や、「全車速追従機能付クルーズコントロール」による運転負荷軽減機能を備える。

■予防安全機能

<プリクラッシュブレーキ (衝突被害軽減ブレーキ)>

- ・ステレオカメラのみで、ほぼ全車速域に対応するプリクラッシュブレーキを実現。高速走行時から極低速走行時まで幅広い走行状況において衝突被害軽減効果を発揮する。
- ・新ステレオカメラは、極近距離まで先行車両の検知を可能とし、渋滞時などの極低速時（時速15km未満の速度）でも警報での注意喚起や衝突被害軽減のためのブレーキ制御を行う。【世界初*】
- ・真正面の車両だけでなく、斜め前方の車両や自転車、歩行者などを検知可能。システムが、衝突の危険があると判断した場合、警報での注意喚起や衝突被害軽減ブレーキ制御を行う。
- ・画像センサーならではの優れた検知性能により、幅広い走行環境で高い衝突被害軽減性能を実現する。

<AT 誤発進抑制制御>

- ・近距離の前方障害物に対して、必要以上にアクセルが踏み込まれたことを検知した場合、エンジン出力を直ちに制限することで発進速度をゆるやかにして衝突被害を軽減する。【世界初*】

<車線逸脱警報>

- ・走行中、車両が車線から逸脱しそうになると、メーター内ディスプレイの表示と警報音で注意を促す。

<ふらつき警報>

- ・走行中、ドライバーの覚醒低下などに起因する車両のふらつきを検知し、メーター内ディスプレイの表示と警報音で注意を促す。

■運転負荷軽減機能

<全車速追従機能付クルーズコントロール>

- ・ステレオカメラのみで全車速追従クルーズコントロールを実現。また、車線などの走行環境を検知できる特長を活かして、運転者の感覚にあったスムーズな制御を実現する。【世界初*】
- ・先行車との距離、速度差を検知し、その情報をもとに、エンジン、トランスミッション、ブレーキなどを制御。運転者が設定した車速と車間距離を維持し、ほぼ時速 0 km/h ~ 100km/h までの幅広い範囲で追従走行が可能。

<先行車発進お知らせ機能>

- ・信号待ちなどで停車した際、前車が発進したことに気づくのが遅れた場合に、メーター内ディスプレイの表示とアラームでお知らせする。

*当社調べ (2008 年 3 月現在)

【販売計画】

アウトバック 「2.5XT」、 「2.5XT EyeSight」 あわせて 限定 2,000 台

【メーカー希望小売価格<消費税含む>】 () は消費税含まず

[単位：円]

車 種	ミッション	価 格	ボディカラー
アウトバック 「2.5XT」 ☆	スポーツシフト E-5AT	3,470,250 (3,305,000)	スチールシルバー・メタリック ダイヤモンドグレー・メタリック カメラレッド・パール* サテンホワイト・パール*
アウトバック 「2.5XT EyeSight」	スポーツシフト E-5AT	3,680,250 (3,505,000)	オブシディアンブラック・パール ニューポートブルー・パール サンライトゴールド・オパール

*:31,500 円高 (消費税含む)

全車とも SYMMETRICAL (シンメトリカル) AWD で、ABS、デュアル SRS エアバッグを標準装備

E-5AT: 電子制御 5 速フルオートマチックトランスミッション スポーツシフトは、Prodrive.Ltd の登録商標

☆ 写真掲載のグレード

なお、商品についてのお問い合わせは、最寄りの販売会社、または SUBARU お客様センター 「SUBARU コール」 0120-052215 までお願いいたします。